



東京2020オリンピック・パラリンピック
交流相手国

ヨルダンが どんな国か調べてみた



東京2020オリンピック・パラリンピックまでいよいよ半年を切ったね。全国でさまざまな準備が進められている中で、能代市はこの大会をきっかけに、ヨルダンという国と仲良くなったんだ。ヨルダンについてみんなにもっと知ってもらうため、こどものしろではヨルダンの学校の様子などを調査してみたよ！

中東の観光大国 ヨルダン

ヨルダンは中東にある国で、イスラエル、シリア、イラク、サウジアラビアと国境を接しているんだ。人口は約1000万人。国土は8・9万平方キロメートルで北海道と同じくらいの面積がある国だよ。国土の8割は砂漠が広がっていて、1年を通して乾燥してい

るんだって。ヨルダンは観光業がとても盛んで、世界中から観光客が訪れているんだよ。地球上で最も低い場所（海拔マインナス400m）にある死海や、映画の舞台にもなった世界遺産のペトラ遺跡、イエス洗礼の地とされるワーディ・ハツラール、モーセ終焉の地とされるネボ山など、見どころがたくさんあるんだ。



世界遺産 ペトラ遺跡



こどものしろ

【広報のしろ特別編集】お子さんと一緒にご覧ください

『こどものしろ』は能代の未来を切り開く子どもたちに向けた広報です。もっと、ずっと、能代を愛して欲しいから、能代の色んなことをお知らせしていきます。



ヨルダンの公立小学校の朝の会の様子
写真提供：国境なき子どもたち (KnK)

ヨルダンの子どもたちの 学校・家庭生活

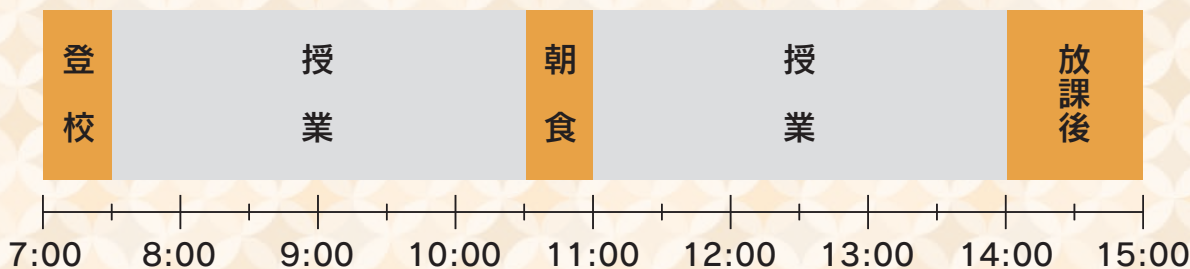
ヨルダンの子どもたちは2年間の幼稚園、日本の小中学校にあたる10年間の基礎教育校、高校にあたる2年間の中等教育校で勉強して大学などに進むんだ。学校は2学期制で、期間はそれぞれ9月から1月、2月から6月まで。学校では英語教育も行われていて、公用語のアラビア語のほか、英語が話せるんだって。

ここで、ヨルダンの小学校の1日のスケジュールを見てみよう。学校にいる時間は午前7時半から午後2時ごろまで。授業ではアラビア語、算数、理科、社会、イスラム教、英語を勉強しているそうだよ。

午前10時半から11時までは朝食をとるそう。えっ朝食？って思うかもしれないけれど、ヨルダンでは日本のように朝早くから食事をする習慣がないんだ。昼食も帰ってから午後3時ごろにとるのが普通なんだ。

朝食時間は子どもたちが一斉に校庭に。思いのまま朝食を楽しんで、食べた後は、男子はヨルダンの人気スポーツであるサッカー、女子は友だちとおしゃべりを楽しんでいるんだって。放課後は日本のようなクラブ活動は無く、授業が終わったら一斉に家に帰るんだ。ヨルダンは家族の結びつきがとても強くて、お手伝いをしたり、家族と話したりして家での時間を楽しむんだ。

ヨルダンの小学校のある日のスケジュール



ファイサル王子・マジャリJOC事務総長と撮影

ヨルダンを訪問した

齊藤市長からのコメント

約29時間というとても長い時間をかけて訪れたヨルダンには、日本では見られないような壮大な自然や豊かな食文化、そして、ファイサル王子やヨルダンのオリンピック関係者をはじめとした多くの方々との出会いがありました。この地で得た強いつながりを大切に、オリンピックやその先もヨルダンと深く交流していけるよう取り組んでいきたいと思っています。